

(参考様式5)

## 事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長野県 上田市	200000 202037	1	21~23年度	21~23年度
活性化計画の区域				
長野県 上田市 丸子地域				

### 1 事業活用化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
地域産物の販売額の増加	5.87%	5.70%	97.1%	
交流人口の増加	1.07%	3.83%	357.9%	

(コメント)

販売額については、農林水産物直売・食材提供供給施設の増改築整備をした「あさつゆ」では目標値に対し、103.5%の達成率であったが、丸子地域全体では、農家の高齢化、就農人口の減少などに歯止めがかからず、99.8%の達成率であった。

交流人口については、「あさつゆ」では目標値に対し、109.0%の達成率であったが、丸子地域全体では、102.7%の達成率であった。

### 2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物直売・食材提供供給施設	直売施設増改築A=101 m <sup>2</sup> A=41.1 m <sup>2</sup> 加工室改築1式		上田市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
上田市	21年度	21年度	H22.3.13
事業の効果			
売り場面積が増えたことにより、生産者にとっては大量の商品の搬入・陳列等スムーズに行なえるとともに売上の増収につながった。消費者にとっても新鮮な野菜がすぐに手に入る等買い物がしやすくなり、販売額・交流人口ともに計画を上回ることができた。			
加工施設を改修することにより、加工食品の増産・増収につながり、地産池消の拡大に大きく寄与した。			

### 3 総合評価

(コメント)

#### 【上田市】

上田市から指定管理の指定を受けた上田市丸子農産物直売加工センター「あさつゆ」運営組合は、独自の運営方針（ポリシー）に基づき活動を行っており、販売額(生産量)を増加させる為、自ら考え、試行錯誤を繰り返し、収益増に向けて常に努力している。

その結果、生産者の生産意欲の増進とともに農地の有効活用や遊休荒廃農地の増加に歯止めをかけている。また、販売額が増えることにより、農家の所得が増加し、深刻化している後継者不足にも歯止めをかけるきっかけとなっている。

#### 【県】

農林水産物直売・食材提供供給施設による地域農産物等の販売額と交流人口の増加を目指した取組は、着実な成果となっている。

今後とも、当該施設が地域の拠点施設として稼働し、地域農産物等の販売額の確保に取り組まれるとともに、担い手農業者の確保につながることを期待する。

### 4 第三者の意見

(コメント)

農林水産物直売・食材提供供給施設の増改築により、生産者からの荷受場所が整備され、消費者の利便性が改善されている。丸子地域の交流拠点施設として引き続き取り組まれることを期待する。

#### 【記入要領】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関する効果）を幅広く記入すること。